

## 良くなれ日本、みんな公平に

大洗町立第一中学校 2年 内藤 心温

一番最初に思いつく税と言ったら、消費税と所得税しかありませんでした。夏休み図書館で税金の本を発見したので読むことにしました。読んでみて、すごく驚いたのが、税金の種類が50種類もあることでした。税金の種類を多くすることで特定の人たちだけに負担がかからないようにしているという事も学びました。そして税金を約めることは、みんな平等ではなく公平に、人によって金額が決まっているという事を知りました。確かに、お金がある人となない人では、出せる金額も変わってくると思います。それぞれにあった金額を納めて公平にしていると学びました。

私の知っていた消費税についても書いてありました。消費税は、子供でも大人でも100円の物を買ったら10%の税がついています。これは、世代や収入に関係なく、広くみんなで負担することか特徴とありました。約8割で国に、約2割が地方収入になることを学びました。この本を読んで考えたのは、私の住んでいる地域には海があります。入湯税があるように入海税などあっても良いのかなと思いました。また、約2割が地方収入とあったので、魅力的なものをたくさんアピールして、お金を使ってもらうことで地域も活性化されるのではないかと思いました。魅力度ランキングでは、最下位のことが多いですが、すてきな景色、美味しいものがたくさんあります。ぜひ、たくさんの人に堪能してほしいです。そして私の住んでいる地域に若い人がたくさん来て移住など考えてもらえたらいいなと思います。ニュースでも、この本にも少子高齢化がこれからもっと進むと日本の将来が危機におちいるとありました。私の祖父も利と同じ中学校に通っていたと話したことがあります。祖父の頃の中学校は6クラスもあったそうで、1クラス40名程いたそうです。私が通っている現在は、2クラスで1クラス30名です。そう考えても少なくなっているのだと感じました。少子高齢化問題の対策として、働きやすい環境を作って、お年寄りでも元気な方はたくさんいるので働いたり、子育てしやすい環境を整えることは、とても大切だなと思いました。私の祖父は、保育園で働いています。小さい子のパワーをもらっているのですごく元気です。核家族が増えてきており、おじいさん、おばあさんと関わる事が減っているので関わることで、高齢者にも刺戟になるし子供達も、昔の事を知る機会があったり、良い環境ではないかと思いました。農業や漁業がさかんな私の地域では外国から働きに来ている方もいます。労働力を増やすことで活性化にもなるのだなと思いました。外国の方が来ることで、交流する機会があれば、外国語を私達も学べるきっかけにもなるのではないかと思いました。地域から国へよい循環が生まれ、日本の将来が良くなるといいなと思います。